

令和5年度 がん登録部会 活動状況

1. 第1回新潟県がん登録部会
 - ・次第（令和5年6月20日 がんセンターにて開催） 資料（1）
 - ・議事録 資料（2）
 - ・がん登録部会会員名簿 資料（3）
2. がん拠点病院 登録数（2008-2021年） 資料（4）
3. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会
 - ① 5月16日 Web会議にて開催 資料（5）
 - ・データ利用への提供審査会の進捗と今後について
2023年5月 第1回データ利用審査委員会開催
 - ・小児がん中級認定者相当の認定について
 - ・院内がん登録全国集計における都道府県推薦施設の扱い
 - ② 院内がん登録公表内容
 - ・院内がん登録2021年全国集計報告書公開（2023年2月15日）
https://ganjoho.jp/public/qa_links/report/hosp_c/hosp_c_registry.html
 - ・生存率集計結果報告書の公表（2023年3月16日）
国立がん研究センターがん情報サービス
https://ganjoho.jp/public/qa_links/report/hosp_c/hosp_c_reg_surv/index.html
 - ・院内がん登録2010年10年生存率集計報告書
 - ・院内がん登録2014-2015年5年生存率集計報告書
 - ・院内がん登録生存率集計結果閲覧システムの更新
<https://hbcr-survival.ganjoho.jp/>
 - ③ 院内がん登録2014-2015年5年生存率集計に対する新潟県のコメント 資料（6）
施設別集計値への意見を反映した報告書公開（2023年6月1日）

新潟県がん診療連携協議会
令和5年度 第1回がん登録部会 次第

日時 令和5年6月20日(火) 13:30から
会場 新潟県立がんセンター新潟病院
がん予防総合センター 3階ネットワーク室

1 開会

2 議事

- (1) 事務連絡・部会員名簿確認(資料1)
- (2) 2021年 県内拠点病院登録状況(資料2)
- (3) 2022年分登録状況ならびに問題点
- (4) 2023年以降の登録における注意事項(資料3)
- (5) アンケート結果(資料4)
- (6) 副部会長の選出
- (7) その他

3 閉会

令和5年度 新潟県がん登録部会 議事録

令和5年6月20日(火) 13:30から

新潟県立がんセンター新潟病院 がん予防総合センター ネットワーク室にて開催。

1. 令和5年度部会員名簿について

別紙の通り(資料1)

2. 県内登録症例数集計(2021年症例)

別紙の通り(資料2)

3. 2022年分登録状況ならびに問題点

拠点病院収集期間 令和5年7月3日～令和5年8月4日

都道府県推薦施設・任意施設 令和5年8月14日～9月15日

4. 2023年症例からの変更点について

別紙の通り(資料3)

5. 意見交換

【QI研究の作業方法について】

- ・QIの要件が令和4年8月1日付で変更されているので各自確認を行うこと。
- ・拠点病院の参加は必須であり、未実施の確認は必要である。

【オプトアウト運用について】

- ・実際に申し出や問い合わせが来た際に、患者さんのがん登録情報をどこまでお話ししてよいか悩む。→各自でコミュニケーションスキルの向上に努める。

【全国がん登録情報のフィードバックについて】

- ・現在2021年届出分の死亡票情報の提供が可能。(死亡日と死因の提供が可能)
- ・情報の利用期限があり、期限が過ぎたら破棄をしなければいけない。(がん登録等の推進に関する法律施行令第10条)
- ・がん登録等の推進に関する法律第20条に基づき、全国がん登録情報から提供された予後情報については、院内がん登録での利用に限られ、同データベース以外への転載は禁止されている。院内がん登録以外の利用目的での情報取得については、定められたルールに則り、データ利用審査会を経て取得することは可能であり、研究等への利用も可能である。

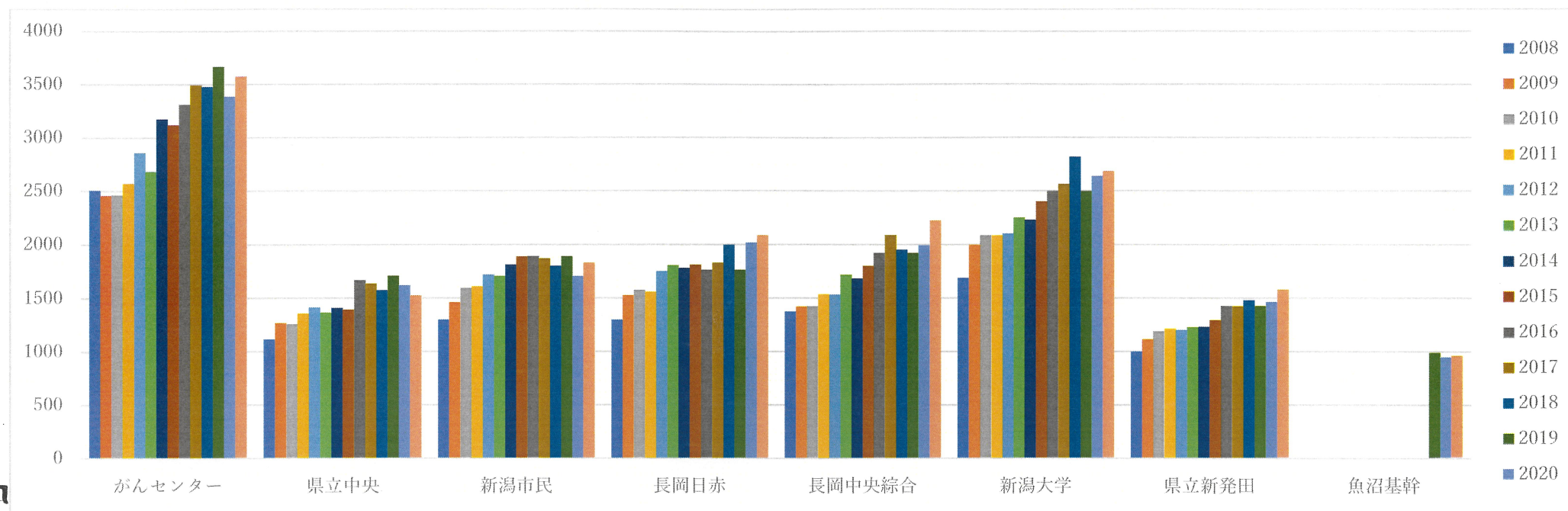
資料(3)

令和5年度 新潟県がん診療連携協議会 がん登録部会員一覧表

部 会 長	病院名	新潟県立がんセンター新潟病院
	所 属	消化器外科
	職 名	副院長
	氏 名	中川 悟

病院名	所属・職名	氏 名
新潟県立がんセンター新潟病院	皮膚科 副院長	竹之内 辰也
	消化器外科 副院長	中川 悟
	内科 情報調査部長	塩路 和彦
	病歴室 委託職員	関根 知香
	病歴室 委託職員	石川 千恵
新潟大学医歯学総合病院	がん登録室 室長	安達 聡介
	がん登録室 係長	伊藤 圭子
	がん登録室 一般職員	坂井 美希
	がん登録室 事務補佐員	佐藤 宏美
	がん登録室 事務補佐員	大島 陽子
新潟市民病院	がん登録室 事務補佐員	寺谷 葉子
	がん診療支援室 室長	伊藤 和彦
	がん情報管理室 主幹	吉田 信也
	がん情報管理室 主査	揖斐 多恵子
	がん情報管理室 副主査	高畑 莉奈
新潟県立新発田病院	がん情報管理室 副主査	豊岡 真奈美
	がん情報管理室 副主査	吉田 春菜
	外科部長	塚原 明弘
長岡赤十字病院	病歴室 (委託職員)	中村 亜耶
	病歴室 (委託職員)	唐橋 絵理奈
	呼吸器外科 部長	篠原 博彦
長岡中央総合病院	病歴管理課 課長	渡辺 純雄
	病歴管理課 主任	小池 健
	副院長 (外科)	河内 保之
新潟県立中央病院	医療支援課診療情報管理室 主任	矢引 智子
	医療支援課診療情報管理室 事務員	河内 彩美
	病理診断科 部長	酒井 剛
魚沼基幹病院	病歴室 委託職員	黒田 彩未
	病歴室 委託職員	荻野 唯
	消化器外科・一般外科 部長	小杉 伸一
佐渡総合病院	腫瘍センター長	小林 ひとみ
	経営企画課参事	森下 遙
	委託職員	森下 遙
済生会新潟病院	病歴管理室 事務員	菊池 玲子
	病歴管理室 事務員	佐久間 祥
	医療情報センター センター長	車田 茂徳
西新潟中央病院	医療情報センター 病歴室係長	川端 沙織
	医療情報センター 病歴室主任	金澤 雅子
	医療情報センター 病歴室員	土田 陽彩
立川総合病院	病歴管理室 診療情報管理士	遠藤 吉志子
	外科 副病院長	蛭川 浩史
	診療情報管理室 診療情報管理士	今井 悠子
柏崎総合医療センター	診療情報管理室 診療情報管理士	成田 真美
	病歴室 診療情報管理士	大谷 美佳
上越総合病院	診療情報管理室 事務員	田村 美和子
	診療情報管理室 事務員	今井 歩美
新潟労災病院	医事課 診療情報管理士	一ノ瀬 麻衣
オブザーバー	新潟県がん登録室	内藤 みち子

資料4 2008-2021 県内拠点病院がん登録数



	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
がんセンター	2507	2459	2464	2573	2861	2686	3175	3120	3312	3494	3479	3668	3387	3575
県立中央	1115	1268	1257	1356	1413	1367	1410	1394	1669	1638	1575	1710	1622	1526
新潟市民	1301	1462	1594	1610	1722	1707	1815	1889	1892	1871	1803	1892	1708	1834
長岡日赤	1301	1527	1576	1560	1753	1807	1782	1812	1765	1830	1999	1765	2021	2089
長岡中央	1377	1422	1423	1536	1535	1719	1685	1801	1922	2089	1954	1922	1994	2227
新潟大学	1690	2000	2087	2087	2105	2252	2232	2403	2499	2564	2820	2499	2640	2685
県立新発田	1001	1116	1189	1214	1203	1227	1232	1293	1425	1423	1479	1425	1465	1578
魚沼基幹												987	946	961

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会プログラム

日時 2023年5月16日(火) 13:00 ~ 16:00

(WEB開場 12:50~)

会場 国立がん研究センター (WEB開催)

Zoom会議情報

<https://us02web.zoom.us/j/82002676844?pwd=bmJmZmRGVTdQQ1FiR3VhK2VnROFjUT09>

ミーティングID: 820 0267 6844

パスワード: 057731

プログラム

0. 資料報告事項 (資料1のみ)

院内がん登録関連本年の予定

- 予後調査支援事業、院内がん登録生存率・全国集計データ収集スケジュール

1. 挨拶

2. 報告

- ・データ利用への提供審査会の進捗と今後について (資料2-1)
- ・小児がん中級認定者相当の認定について (資料2-2)

3. 議事

- ・院内がん登録全国集計における都道府県推薦施設の扱い (資料3)

4. その他・連絡

- ・患者体験調査の予定 (資料4)

資料

1. 今年度のスケジュール概要
- 2-1. 全国収集データ2次利用について
- 2-2. 小児がん中級認定者相当の認定について
3. 院内がん登録全国集計における都道府県推薦の扱い
4. 患者体験調査について

県コメント

新潟県の5年生存率は、全国平均より高い数値を示しております。がん検診にて発見された割合が高く、特に胃と大腸は全国平均を大きく上回っております。他疾患経過観察中による発見割合も高く、早期にがんが発見され治療に結びついた結果と考えられます。一方、非小細胞肺がんではステージⅠの割合は全国で最も高いですが、生存率には反映されておられません。その原因として、肺がんは早期であっても「他疾患」による死亡が多いと推測されます。子宮頸がんも同様で、ステージⅡの割合が全国平均より高いものの生存率が大きく下回っており、「他疾患」による死亡が多いと推測されます。

新潟県の実測生存率が全国平均より高い数値を示していることは、当県のがん医療の均てん化及びがん診療連携拠点病院としての役割を果たしている結果であると考えられます。しかし、今回の結果はがん診療連携拠点病院に指定されている8施設のうちの6施設のデータを集計した数値になります。最も人口の多い医療圏に位置する施設の症例数が集計対象となっていないことから、実際の数値は大きく変動する可能性があります。残り2施設のデータを集計できる体制の構築が当県の課題になります。